

2020年 2月21日

八千代市長 服部友則 様

日本共産党八千代市議員団

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急の申し入れ

世界保健機関 (WHO) は、新型コロナウイルス感染症による肺炎について「緊急事態」にあたと宣言しました。これを受け、日本政府も「指定感染症」と定め、「水際対策」などの検疫体制を強化しています。

しかし、新型コロナウイルスは国内で、すでに「ウイルスが入り込み市中において散発的な流行が起きてもおかしくない」(日本感染症学会) 状況にあるとされています。2月13日には神奈川県で、新型コロナウイルス肺炎により高齢女性が死亡しており、国内での人から人への感染「市中感染」が起きているとの報道もされています。

いま、八千代市も含めた首都圏での感染の広がりが懸念されており、市民の不安は大きく高まっていることから、八千代市としての対策を抜本的に強化することが求められています。

そこで、日本共産党八千代市議員団は、以下についての緊急の申し入れを行うものです。

記

1. 市の電話相談窓口を24時間対応に切り替え体制を強化すること。
2. 国・県とも連携し公的情報を迅速に市民へ伝えるとともに、市として独自の情報把握に努め、インターネットを利用できない高齢者・市民にも確実に届くよう徹底すること。
3. 介護施設、老健施設等にマスクなど感染予防用品が行き渡るよう対策を強めること。
4. 東京女子医科大学八千代医療センターや保健所の検査体制の強化と検査希望者の全てを受け入れる体制をつくること。
5. 陽性と診断されなかった場合でも、新型コロナウイルス肺炎を想定した慎重な対応を行うこと。
6. 新型コロナウイルス問題による市内業者への影響を調査し、必要な融資や助成などの支援策を講じること。

以上